

菅内閣が発足人事においても

菅義偉内閣

閣僚の横顔

副総理、財務、金融
麻生 太郎氏
安倍前首相の盟友
引き継ぎ内閣ナンバー2として政権を支える要の役を担う。安倍晋三前首相の盟友で、自民党第2派閥を束ねる重鎮。官房長官時代の菅義偉首相とは一定の距離があったとされ、息を合わせられるかどうかが焦点だ。

総務
武田 良太氏
被災支援で機動力
7月の九州豪雨では、防災担当相として発生後すぐに現場に入り、自身の人脈も活用して避難所の物資調達に努めた。即断即決と機動力が持ち味だが、所管分野が多く行政改革では細かい制度について勉強不足との指摘もある。

法務
上川 陽子氏
実務能力に高評価
衆議院議員の政策スタッフやコンサルティング会社代表を経て政界入り。実務処理能力の高さが評価され、2018年10月の選任以降の再登壇となった。同年夏には、オウム真理教による事件で死刑が確定した13人全員の執行を命じた。

外務
茂木 敏充氏
要職歴任の仕事人
新型コロナウイルス感染症が発生した中国湖北省武漢市から邦人を避難させる対応に当たった。武漢市から邦人を避難させる対応に当たった。武漢市から邦人を避難させる対応に当たった。

文部科学
萩生田光一氏
身の丈発言に批判
安倍晋三前首相の側近の一人。昨秋の就任後、大学入学共通テストの導入予定に当たって英語民間検定試験を巡り「自分の身丈に合ったって頑張る」と発言。批判を受けて謝罪したが、試験導入見送りに追い込まれた。

厚生労働
田村 憲久氏
コロナ予算を調整
厚生労働分野に精通する実力派だ。第2次安倍内閣で労働部長を務めたほか、自民党厚生労働部会長や衆議院厚生労働部会長を歴任。党の新型コロナウイルス対策の本部長も担い、2020年度補正予算の調整に奔走した。

農林水産
野上浩太郎氏
根回しで信頼を得る
2016年から約3年間、官房副長官を務めた自民党参議院議員のホープ的存在。国会に日参りに専念し日程の調整や重要政策の根回しに注力し、与野党からの信頼を獲得。19年からは参院幹事長代行を務め、閣内に初入閣を果たした。

経済産業
梶山 弘志氏
首相との父の縁
菅義偉首相が「政治の師」と仰ぐ梶山弘志元官房長官の長男。首相とは父の縁で共に政治界入り。エネルギー分野に明るく、政策を地道に進める「実務派」として官邸からの信頼は厚い。

国土交通
赤羽 一嘉氏
バリアフリー推進
商社勤務を経て1993年の衆院選で初当選。経済産業、財務各閣大臣を歴任した。バリアフリー推進がライフワークの一つ。国交相就任後は新幹線の車いす用スペース拡大に道を開いた。

環境
小泉進次郎氏
精彩欠く首相候補
早くから将来の首相候補と目され昨年の環境相就任で一気に注目を集めたが、発信力は精彩を欠き人気には陰りが見える。気候変動問題に「セクシーに取り組みたい」と発言するなど、意味不明な表現が多いとしてネット上で「ボエム」とやぶられた。

防衛
岸 信夫氏
長期政権を支えた弟
安倍晋三前首相の次弟で、長期政権を支えてきた。外交、安全保障政策に精通。米軍岩国基地（山口県岩国市）への空母母港移転経路で、外務大臣として説明を重ね、受け入れに向けた調整に奔走した。

官房、拉致問題
加藤 勝信氏
首相を支えた実務派
安倍晋三前首相が初めてポスト安倍候補として列挙し期待を掛けられた一人。官房副長官として長官だった菅義偉首相を支えた。実務能力に定評があり、新内閣の要石として危機管理を担う。

復興
平沢 勝栄氏
前首相の家庭教師
衆院選8回で念願の初入閣を果たした。警察官出身。家庭教師を務めた経験を持つ。テレビ討論番組などで出演で知名度は高く、ざっばらんな語り口が特徴だ。

国家公安、防災
小此木八郎氏
緑の下で国対支援
自民党国対委員長代理を約4年務めるなど、現場を任された緑の下で力持ちタイプ。防災担当相時代は、西日本豪雨など災害が相次ぎ対応に奔走した。国会でも「防災」の東京外務省を巡る野田聖子元閣僚との対立が顕著だった。

行政改革、沖縄北方
河野 太郎氏
発信力ある行動派
発信力と行動力が持ち味。話題豊富な投稿が人気で、ツイッターのフォロワーは175万人超。防衛省で6月に地上イージス計画の停止を表明し、注目を集めた。将来の首相候補に挙げられ、自身も意欲を示す。

1億総活躍、地方創生
坂本 哲志氏
熊本の再生へ心血
新聞記者出身で見る、聞く、多くが「モットー」。熊本県から国政に進んだ。中小企業政策や農政に明るい。2016年の熊本地震では仮設住宅解消など「熊本の再生」に心血を注いだ。

経済再生
西村 康稔氏
コロナ対応で注目
アベノミクスの旗振り役を務める傍ら、3月からは政府の新型コロナウイルス対策を兼任。3番の要人をめぐり呼び掛けるなど「丁寧な説明」が信条で、記者会見に連日臨み変化が世間の注目を集めた。

デジタル改革、IT
平井 卓也氏
IT推進の代表格
ITを推進する自民党国会議員の代表格。2018年、科学技術担当大臣に就いた。ペーパーレス化を主張。紙に印刷した資料を手に答弁に立つ風習が目立つ中、19年には政府専用としてタブレット端末を使って初めて答弁し、話題を呼んだ。

五輪、女性活躍
橋本 聖子氏
出場歴あり再任
冬季はスピードスケート、夏季は自転車競技で計7回、五輪に出場した。その経験を買われ、米夏に延期された東京五輪・パラリンピック成功に向け再任。引き続き汗をかくことになった。

万博、消費者
井上 信治氏
被災地に200回
2006年から通算約4年半、自民党副幹事長として2人の幹事長を支えた。選挙実務などの遂行能力が評価された。環境・内閣府副大臣として東日本大震災の被災地に200回以上足を運び、東京電力福島第1原発事故後の対応に当たった。

改革連呼 実現は多難

組閣に派閥横やり 総裁任期あと1年
縦割り打破へ「大胆に」
菅義偉首相は、組閣にあたり派閥横やりを抑制し、縦割りを打破する「大胆な」改革を掲げている。菅首相は、組閣にあたり派閥横やりを抑制し、縦割りを打破する「大胆な」改革を掲げている。

菅政権 政策課題は

四島交渉 具体策乏しく
外交安保
インフル同時流行警戒
コロナ対策
競争重視 遠い格差是正
エネルギー
原発依存度 どう下げる
支援継続 法改正が必須
JR北海道